

スノーモービルの乗入れに係る入山式及び単独パトロール

朝日庄内森林生態系保全センターでは、朝日山地森林生態系保護地域におけるスノーモービルの乗り入れ自粛の実施状況を確認するため、毎年春分の日前後から5月のGWまでの期間にパトロールを行っています。

パトロールを実施する西川町月山地区は、スノーモービルの愛好者で結成された「自然を守るスノーモビラーの会」があり、自主ルール(月山特別ルール)に則り自然環境の保全に努めています。



入山式(マナーの啓発)

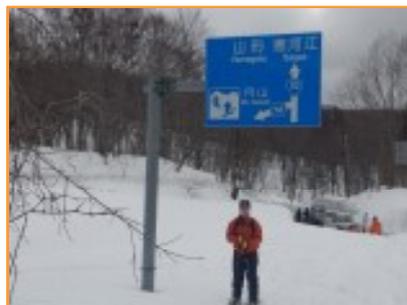
今シーズンは、3月24日(日)が走行初日となったことから、センター職員から森林生態系保護地域への乗り入れ自粛の要請と樹木への損傷防止等の注意喚起を行うとともに、朝日山地のマナーガイドを配布し、山形県内を中心に、集まったスノーモビラーに対して啓発活動を行いました。



スノーモービル走行風景

また併せて、スノーモービル乗り入れ状況や樹木の損傷等の有無を確認するため、単独でパトロールを行いました。

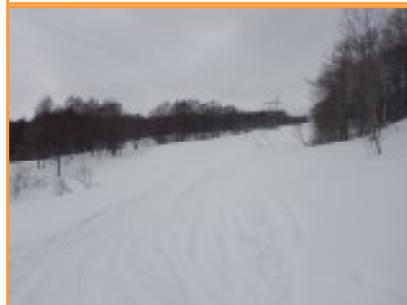
当日は、西川町志津温泉(清水屋旅館前)から、スノーモービルが走行したルート(乗り入れ区域内の鉄塔周辺まで)を確認しましたが、森林生態系保護地域への乗り入れや樹木への損傷はありませんでした。



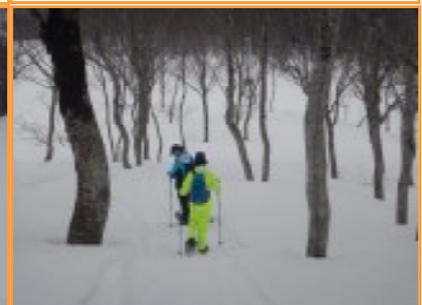
積雪状況(R6.3.24)



積雪状況(R5.3.25)



スノーモービル走行跡



スノーモービル走行跡の確認

当日は銀世界のブナ林の中をスノーシュートレッキングやスノートレッキング、スキニーなどを楽しむ人たちもおられました。

今後も、地元団体や関係機関と協力し、保全と利用の調和を図るためのパトロール活動を継続することとしています。